

「つながり」の力で未来を拓く

群馬県小学校長会長 前田 泰伸



このたび、群馬県小学校長会の会長を拝命いたしました。身の引き締まる思いとともに、これまで県内の教育を支えてこられた諸先輩方、そして日々子どもたちと向き合っていらっしゃる校長先生方に、心より敬意と感謝を申し上げます。

現在、私たちの教育現場は大きな変化のうねりの中にあります。飛躍的な技術革新により進化した人工知能が私たちの生活の中に深く浸透し、Society5.0の社会が現実のものとなりつつあります。「今の小学生の65%は、将来、現時点では存在しない職業に就くことになるだろう」とも言われる中で、子どもたちは予測困難な未来を生きていかなければなりません。

こうした時代背景を踏まえると、私たち校長は、自らの担う使命の重要性を改めて深く感じざるを得ません。群馬県教育ビジョンは、「ひとりひとりがエージェンシーを発揮し、自ら学びをつくり、行動し続ける『自律した学習者』の育成」を最上位目標に掲げています。これを実現するためには、その理念を深く理解し、教職員にもしっかりと浸透させ、各校の教育活動に確実に反映させていかなければなりません。

また、学習指導要領に掲げられている三つの柱をバランスよく育む教育を実現していくこと、そして、学校における働き方改革を推進していくことは、私たちが重視すべき課題です。とりわけ長時間勤務の是正は、教員のなり手不足解消の一助になると考えます。校長がリーダーシップを発揮し、教職員が本来の職務に専念できる環境を整備することで「働き

がい」を実感できる学校づくりを進めていくことが大切です。

全国連合小学校長会の植村前会長は、その活動の価値と意義を「つながり」「学び」「国に声を届ける」ことであると説明されました。この言葉をお借りするならば、群馬県小学校長会の使命も、「つながり」「学び」、そして「県に働きかける」ことにあると思っています。県内各群市の校長同士がつながり、互いに学び合うこと。そして、その声を県の教育行政に届け、本会与行政がともに手を携えて両輪のごとく歩んでいくこと。それこそが群馬の子どもたちのより良い未来を切り拓く第一歩となると信じています。

私たち世代の校長は、コロナ禍という未曾有の困難を経験しました。先の見えない状況の中で、数多くの難しい「判断」を重ねながら、「教育活動を止めない」という信念のもと、時に自らを信じ、時に仲間と支え合って前に進んできました。その中で育まれた「縦」と「横」のつながりは、私たちの大きな財産であり、今後も本会の活動の確かな基盤となるべきものです。

「人は人の中で育つ」という言葉があるように、子どもも、教師も、そして私たち校長もまた、人との出会いの中で成長していく存在です。だからこそ、本会がそうした「つながり」の場として機能することを願ってやみません。

今後、私たち教育に携わる者に求められているのは、これまでの知識や枠組みにとらわれることなく、柔軟な発想で未来を切り拓く力を、子どもたちとともに育んでいく姿勢です。

群馬県小学校長会は、会員の皆さまとともに、群馬の子どもたちのために、力を合わせて歩みを進めてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。